

令和5年 堅果類（ドングリ）の豊凶調査結果について

1 堅果類（ドングリ）の着果状況について

秋のクマの主食と考えられるブナ、ミズナラ、コナラの実の豊凶調査の結果、**ブナ不作、ミズナラ不作、コナラ不作**となりました。

2 ツキノワグマ出没の可能性について

今年と同じパターンの作柄だった年（H28）はブナとミズナラの作柄が相対的に悪かった県東部で出没が増加し、人身被害も3件発生したことから、本年の秋はブナが凶作である**県東部を中心に低標高域で活動するクマが増加すると予想され、平野部への出没も懸念されます**。このため、**山裾の集落周辺のほか平野部においてもクマ出没に十分警戒する必要があります**。

3 森林研究所の樹種別着果状況調査結果（調査時期：ブナ8月、ナラ8月中下旬）

樹種	ブナ
作柄	全県 不作 東部 凶作 ：全箇所にて凶作 西部 不作 ：凶作、不作がばらつく
調査箇所	15箇所調査 境川、嘉例沢、馬場島、立山桑谷、立山ブナ平、有峰（下部、祐延、峠谷）、大長谷、山の神、細尾峠、菅沼、ブナオ峠、大門山、医王山
樹種	ミズナラ
作柄	全県 不作 東部 不作 } 凶作、不作がばらつく 西部 不作 }
調査箇所	16箇所調査 境川、嘉例沢、平沢、馬場島、芦峠寺、有峰（猪根、西岸、峠谷、東谷）、桧峠、牛岳、大長谷、山の神、細尾峠、西赤尾、医王山
樹種	コナラ
作柄	全県 不作 東部 並作 } 凶作、不作、並作がばらつく 西部 不作 }
調査箇所	11箇所調査 三峯、魚津、東福寺野、吉峰、猿倉、頼成、閑乗寺、医王山、俱利伽羅、五位、氷見

※作柄は豊作、並作、不作、凶作の4段階区分（健全堅果密度と着果指数に基づく）
 （神通川を境に東側を県東部、西側を県西部）